

イチオシイベント
全日本リレー大会 2005
2005年12月18日

鬼ヶ島で「日本一」を競う

木村佳司

2005年。愛知での世界選手権が終わっても楽しみなシーズンは続く。今度の全日本リレーは瀬戸内海の島で行われる。オリエンテーリング専用船を走らせ、小さな島をオリエンティアが埋め尽くす。

平成17年度全日本リレー大会
2005年12月18日(日)
岡山県笠岡市白石島



この大会のキーパーソンとなる2名。山川克則(ジェネシスマッピング)と佐藤旭一(岡山県協会)。瀬戸内海をクルージングして白石島を目指す。(工作船に拉致されていくム・ジョンナム氏のように見えなくもなし)

岡山県の決断

2005年の全日本リレー担当は岡山県。しかし、岡山県協会は全日本リレーを引き受けるかどうかで葛藤があった。

一般的に岡山でのオリエンテーリングといえば植生状態が良くない、山がキツイ・・・など良いイメージがある場所とは言えない。しかし天候は冬でも穏やかで、海は美しい。アウトドアスポーツには最適な場所だ。森をバリバリ直進することを言わなければ、風光明媚な岡山県はオリエンテーリングの適地なのだ。



そんな中で、地元に着した地道なオリエンテーリング活動はずっと続いていた。特に瀬戸内海に浮かぶ白石島では、20年以上にわたって、毎年春に大会を開催してきた。パーマネットコースを整備してきた。

2005年度の全日本リレー大会はこの白石島で開催することを岡山県協会は決定した。

長年にわたる行政との太いパイプ。地元との協力体制が期待できる。しかしそれ以上に岡山県協会が期待しているのは、全日本リレーで地図を一新し、今後の活動に新しい力を吹き込むことだ。



白石島へは本土から連絡船が頻発している。まさに水上バス感覚。チャーター船で輸送問題もイッパツ解決。

地図の鬼、島に上陸

ジェネシスマッピングの山川が先日白石島に上陸した。地図のオニから見た瀬戸の島はどうだったのだろうか?

「大丈夫。森の中だってちゃんと通れる。あとはいい地図さえあれば。」



島のシンボル鐘岩。桃太郎は岡山県の伝説。鬼ヶ島のモデルは白石島だったのかも。

島には鬼が島のような巨岩・奇石がゴロゴロしている。山川はこれをどのように地図表現しようかと考え始めていた。

まずはこの冬からGPSを入れた調査が始まる。2005年春までにはモデルイベント用地図を完成させ、その地図を使って春の白石島大会を開催する予定だ。

うらかな瀬戸の海と、チェコを思わせる地図にもうすぐ会える。

(木村佳司)